

環境

大目標：教職員、学生1人1人が地域の環境を大切する意識を持ち、多様性を尊重し、自らも生き活きと輝ける職場、学校を構築する。

※テーマをクリックいただきますと詳細をご確認いただけます。

テーマ	SDGs該当目標	2024年度実績
ダイバーシティキャリア支援センターの活動	 	■2024年度は以下の活動を行い、学生の学習環境や教職員の研究・労働環境の整備を目指した。 ○保育介護お悩み相談会(2024年9-11月)：2件 ○ダイバーシティ3制度【ダイバーシティ研究助成金助成制度：助成者2名、ダイバーシティ表彰：表彰者3名、ダイバーシティ英語論文作成費助成制度：助成者5名】 ○保護者会でのキャリアパス相談会(2024年10月) ○医学部2年次、4年次キャリア教育実施(2024年12月) ○大学院キャリア教育実施(2024年12月) ○ベビーシッター補助券の配布：利用者16名、配布543枚、使用517枚 ■目標に対する実績は以下の通り。 ○女性理事・執行役員は前年比1名増 ○研究者における女性比率： 教授相当9%(目標未達)、准教授・講師相当25%、助教相当30%(目標未達) ○不妊治療休暇は未創設 ○2024年度の男性育児休業取得率34% (2024年度内にお子様が生じた男性38名、うち育児休業を取得した方13名)
障がい者雇用を支える就労支援室	  	■昨年度に続き、学校・各機関の見学や問い合わせがあり様々な障害の方に、実習を受けていただいた。49名見学(内、先生8名、川崎市企業応援センター5名)、実習19名(内、支援学校2年生8名、支援学校3年生2名、その他9名)。今年度は、6名の障害者採用をすることができた。 ■昨年に引き続き、各病棟・各部署に伺ったり、軽作業を行っている。患者様が使用される、同線に配備する車椅子の消毒・整理・配置など、外来棟及び、エントランス棟オープンに伴う体制で作業も日々増えている。